

# G i k a i

2020.10.22 第59号

## おみたま市議会だより

玉里小学校  
最後の運動会

### Contents

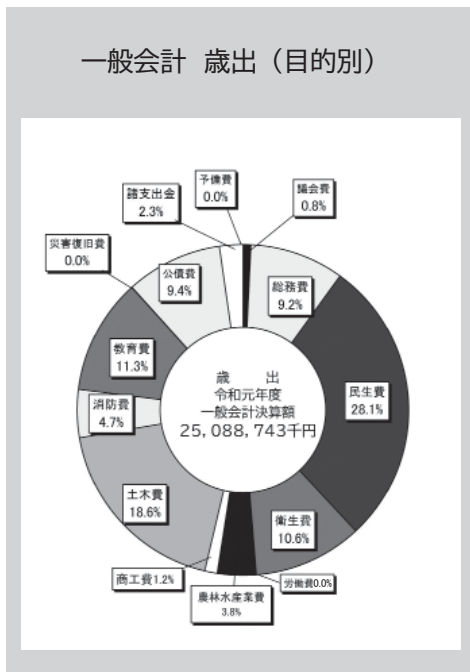
- 第3回定例会決算認定 P2-3
- 決算特別委員会 P4-5
- 審議結果等一覧 P6-8
- 常任委員会Q & A P9-10
- 一般質問 P11-16

(今号の表紙：玉里小学校)

# 令和2年第3回定例会 令和元年度決算を認定

第3回定例会は、9月3日から25日までの23日間の会期で開かれ、35件の議案等を審議しました。令和元年度決算議案は、特別委員会での審査のあと、本会議で採決を行い、すべての議案を認定しました。

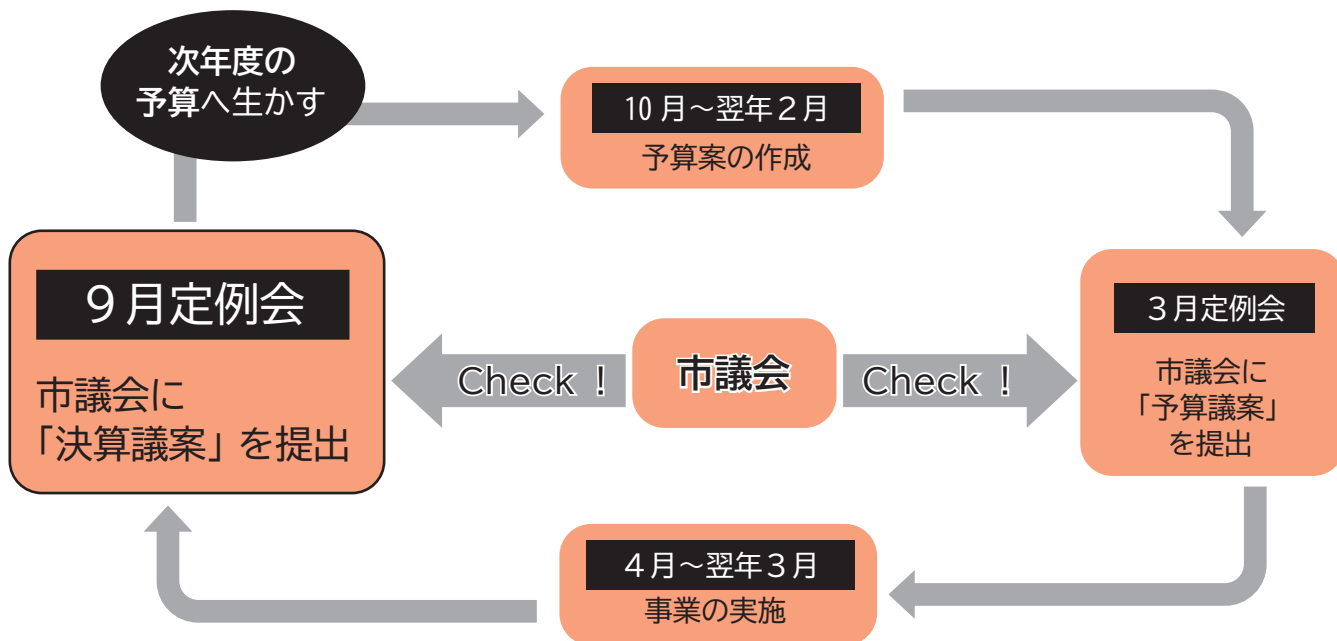
## 令和元年度 会計別の決算額



会計別		歳入（万円）	歳出（万円）	歳出の前年度比（%）
一般会計		260億2,900	250億8,875	2.2 ↑
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	54億8,053	54億3,280	4.2 ↓
	国民健康保険（白河診療所）	1億2,157	1億1,204	6.0 ↓
	後期高齢者医療保険	5億3,240	5億3,109	3.1 ↑
	下水道	16億8,029	14億7,914	5.9 ↓
	農業集落排水	2億7,993	2億7,387	5.5 ↓
	戸別浄化槽	3,629	3,342	35.2 ↑
	霊園	2,748	2,558	38.7 ↑
	介護保険（事業）	39億5,049	39億4,917	1.6 ↑
介護保険（サービス）	714	680	107.3 ↑	
合計		381億4,517	369億3,260	0.8 ↑
企業会計	水道 収益的収支	8億5,282	7億8,963	1.5 ↑
	水道 資本的収支	7億5,907	13億6,638	42.5 ↑

## 予算から決算へ そして次の予算へ

決算審査は次の予算編成につなげるための大事な審査で、未来に向けたサイクルの一環といえます。



# 市財政の健全化判断比率状況

実質公債費比率 7.6%

将来負担比率 64.5%

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
R 1	7.6%	25位	6.7%	25% (18%)*
H30	7.3%	22位	6.8%	
H29	7.4%	21位	6.8%	

(順位は、県内 44 市町村の数値の低いほうからの順位)

\*早期健全化基準が 18%に達した場合は、新たな借金をする際に県の許可を要するなどの制限がある。



実質公債費比率は、市の借入金に関わる指標です。市が直接借りたお金だけでなく、間接的に借りたとみなされるもの（ごみ処理施設組合が設備更新のため借入したことに対して、市が負担金を出した場合など）も含めて、その年の返済額が、その年の使い道が自由な収入に占める割合を出し、直近の3年間で平均したものです。25.0 を超えると早期健全化基準（イエローカード）、35.0 を超えると財政再生基準（レッドカード）に該当し、財政破綻の危機があるため県の許可なく市債の借入ができなくなったり、財政再生計画を国に提出し、財政を立て直ししたりする必要が出てきます。

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
R 1	64.5%	31位	41.9%	350%*
H30	62.4%	33位	37.1%	
H29	64.1%	30位	37.0%	

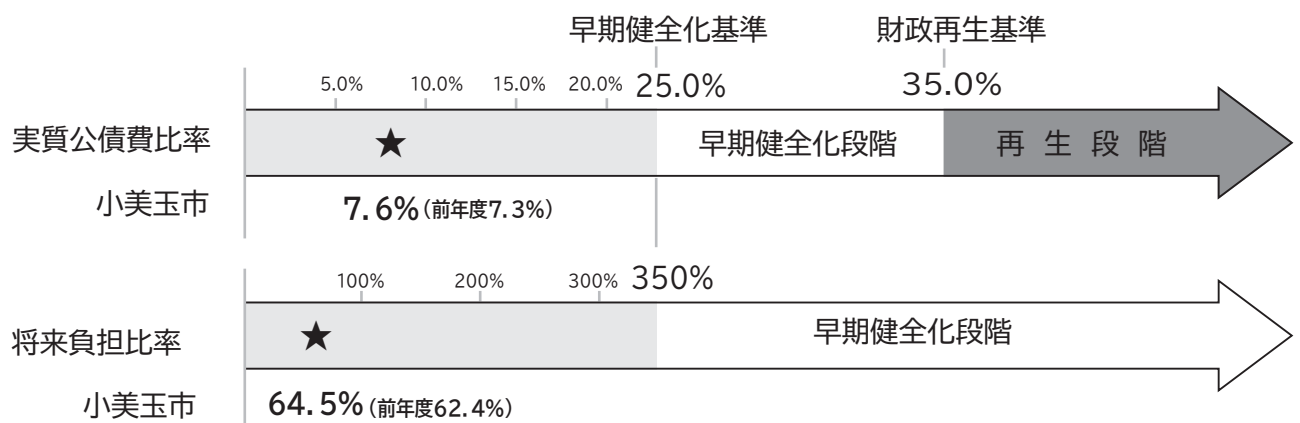
(順位は、県内 44 市町村の数値の低いほうからの順位)

\*将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。



将来負担比率は市の借入金をはじめとした将来に渡り支払わなくてはならない費用（負債）の総額が、1年間の収入規模の何倍になるかを示した指標です。家計に例えると、住宅ローンの残高が年収の何倍になるかを表しています。国が定める基準は 350%未満とされており、この基準を超えると財政健全化計画を国に提出し、事業や組織の見直し、収入の確保など、より厳しい財政改善が求められます。

## 早期健全化基準・財政再生基準のイメージ図



★は小美玉市の数値

## 決算議案

### ふるさと寄附金事業

市および市の特産品をPRし、ふるさと応援寄附を募ることにより、市の知名度アップ並びに地域振興を図る。前年度対比で大幅に減少している要因は、寄附件数の減少に伴う返礼品並びに送付にかかる経費が減少したことによる。

決算額 52,577,629 円



## 議会の チェック

ふるさと納税制度の趣旨に基づき、制度を遵守しながら、近隣市町村の状況の把握や協力事業者との更なる協力体制の整備、また新たな返礼品の掘り起こしを行いながら「小美玉市の知名度向上」および「小美玉市に対する寄附の拡大」を図るとあるが、取り組み案を示しながら、今後の進め方について具体的に伺う。

## 回答

新たな返礼品の掘り起こしは、協力事業者への新商品開発の意思確認並びに、新規協力事業者の発掘は、市商工会や観光協会への情報提供の呼びかけおよび農協等への情報収集などを行った。ふるさと寄附金の受付サイトとして「ふるさとチョイス」のみだが、他の複数のサイトを検討し、多くの寄附者へ情報が届くよう工夫する。

## 令和元年度の決算を審査する 決算特別委員会を開催



9月定例会では、市長から提出された「令和元年度決算」議案の審査を行うため、9月14日決算特別委員会が開催されました。「予算の使い方は適正だったか」「事業を効率よく執行できたのか」次年度の予算編成に生かすため、慎重に審査を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策として新たな運営方法で質疑通告制を取り入れ、執行部を常任委員会所管ごとに入れ替えて審査を行いました。審査の過程で委員からどのような指摘や要望があったのか、その一部についてお知らせします。

## 議会の チェック

行政改革の実施計画に位置付けられた施設の管理運営を指定管理者へ移行することのだが、進捗状況は。また移行時期は。

「そ・ら・ら」運営委員会に指定管理導入について諮問し、2か年で5回の会議を開催。現在、指定管理料等について協議中で、令和4年4月からの移行を目指し準備を進めている。

## 回答

## 決算議案

### 空の駅管理運営費

空のえき「そ・ら・ら」の健全な維持管理とともに各種事業を展開し、本市の農畜産物や地域特産品の紹介、普及ならびに地域情報の発信を行い、産業の振興および地域の活性化を図る。

決算額 70,661,769 円



## 決算議案

### 予防接種事業

予防接種法に基づき、予防接種実施により伝染の恐れのある疾病と蔓延を予防し、公衆衛生の向上および増進を図る。

決算額 125,547,640 円

## 議会の チェック

### 【定期】

高齢者インフルエンザ 9,247人 24,056,390円

### 【任意】

子どものインフルエンザ 5,887人 8,635,700円

## 要望

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行を想定し、今期、十分なインフルエンザワクチンの確保をお願いしたい。

## 回答

厚生労働省の通知では、ワクチンの供給量は前年度比12%増を見込んでいる。ワクチン確保は医療機関ごとに行っており、市内医療機関では例年より2割程度の増で要望していると聞いている。



## 決算議案

### 適応指導教室関係経費

不登校の児童生徒に対し、適応指導の場を設け、学校や関係機関との連携のもと、豊かな体験活動を通して自立心を育て、学校復帰を目指す。

決算額 6,669,362 円

## 議会の チェック

不登校児童生徒に対し、ハーモニー・パステルにも通えない子どもの対応はどのようになっているのか。きめ細やかな対応を望む。

## 回答

適応指導教室（ハーモニー・パステル）に通うことができない児童生徒には、各校の担任や学年主任、生徒指導主事等が定期的に家庭訪問や電話連絡を行っている。家庭訪問の際に学習支援などで関係を構築している。保護者に対しても担任・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等との面談を行い、連携しながら適応指導教室の通室や放課後登校に繋げられるようにしている。



## 議会の チェック

訪問型・通所型サービスの拡大として平成30年度より35%増の予算が組まれていたが、不用額が発生してしまった要因を伺う。

## 回答

複合型教室を年度当初に定員に満たないため中止し、対象者の状況を勘案し運動主体プログラム教室へ振替えた。また、通所事業委託料の単価見直しを行い、利用件数は増えたが、単価引下げにより減額の見込みとなったため、3月補正で総額20,101,000円減額した。新型コロナウイルス感染症の影響により、1,468,955円の不用額が発生した。

## 決算議案

### 介護保険特別会計 地域支援事業

介護予防マネジメントに基づき、専門職等による運動器の機能向上プログラムや認知症予防支援などの各種介護予防プログラムを行う。

決算額 139,830,501 円



## 令和2年第3回定例会 審議結果等一覧（全35件）

番号	案件名	内 容	付託	審議
<b>■条例（4件）</b>				
50	小美玉市固定資産評価審査委員会条例及び小美玉市行政不服審査関係手数料条例の一部を改正する条例について	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの	総務	可決
51	小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	「法制アドバイザー」の職務に加え、法務活動を通じての政策実現及び専門的な見地からハラスメントへの対処を行うことを職務とする「政策法務アドバイザー」の職へ変更するもの	総務	可決
52	小美玉市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症の防疫作業に従事する職員の特殊勤務手当の支給に関する特例を定めるもの	総務	可決
53	小美玉市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例について	美野里地区幼稚園（竹原幼稚園、羽鳥幼稚園、堅倉幼稚園、納場幼稚園）を統合し、新たに小美玉市立よつば幼稚園を設置するもの	文教 福祉	可決
<b>■令和2年度補正予算（11件）</b>				
54	令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第4号）	[補正額]3億7950万円 [補正後額]304億2,241万8千円	—	可決
55	令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第5号）	[補正額]4億9,848万3千円 [補正後額]309億2,090万1千円	各委員会	可決
56	令和2年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	【事業勘定】 [補正額] 2,373万円 [補正後額] 51億8,843万5千円 【白河診療所】 [補正額] 514万4千円 [補正後額] 1億2,742万7千円	文教 福祉	可決
57	令和2年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	[補正額]△1,060万1千円 [補正後額]5億7,363万3千円	文教 福祉	可決
58	令和2年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	[補正額]437万7千円 [補正後額]3億557万4千円	産業 建設	可決
59	令和2年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	[補正額]270万9千円 [補正後額]3,814万2千円	産業 建設	可決
60	令和2年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	[補正額]141万3千円 [補正後額]1,698万9千円	総務	可決
61	令和2年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第1号）	【保健事業】 [補正額] △468万2千円 [補正後額] 39億6,231万5千円 【介護サービス】 [補正額] 35万1千円 [補正後額] 660万2千円	文教 福祉	可決
62	令和2年度小美玉市水道事業会計補正予算（第1号）	【収益的支出】 [補正額]△50万2千円 [補正後額]8億1,110万6千円	産業 建設	可決
63	令和2年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第1号）	【収益的収入及び支出】 収入 [補正額] △1,092万1千円 [補正後額] 1億7,353万7千円 支出 [補正額] △33万7千円 [補正後額] 11億3,474万7千円 【資本的収入及び支出】 収入 [補正額] 1,950万円 [補正後額] 7億2,712万1千円 支出 [補正額] 2,000万円 [補正後額] 11億4,004万円	産業 建設	可決
78	令和2年度小美玉市一般会計補正予算（第6号）	[補正額] 1億7,242万1千円 [補正後額]310億9,332万2千円	—	可決

# 審議結果

番号	案件名	内 容	付託	審議
<b>■令和元年度決算（9件）</b>				
64	令和元年度小美玉市一般会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 260億2,900万9千円 〔歳出〕 250億8,874万3千円	決算	認定
65	令和元年度小美玉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	【事業勘定】 〔歳入〕 54億8,053万8千円 〔歳出〕 54億3,279万1千円 【白河診療所】 〔歳入〕 1億2,157万5千円 〔歳出〕 1億1,203万7千円	決算	認定
66	令和元年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 5億3,240万3千円 〔歳出〕 5億3,108万3千円	決算	認定
67	令和元年度小美玉市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 16億8,029万3千円 〔歳出〕 14億7,913万6千円	決算	認定
68	令和元年度小美玉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 2億7,993万5千円 〔歳出〕 2億7,386万1千円	決算	認定
69	令和元年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 3,629万5千円 〔歳出〕 3,341万3千円	決算	認定
70	令和元年度小美玉市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 2,748万4千円 〔歳出〕 2,557万2千円	決算	認定
71	令和元年度小美玉市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	【保健事業】 〔歳入〕 39億5,049万8千円 〔歳出〕 39億4,916万6千円 【介護サービス】 〔歳入〕 714万6千円 〔歳出〕 679万4千円	決算	認定
72	令和元年度小美玉市水道事業会計決算認定について	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 8億5,282万4千円 〔歳出〕 7億8,962万1千円 【資本的収入及び支出】 〔歳入〕 7億5,907万3千円 〔歳出〕 13億6,637万8千円	決算	認定
<b>■その他（6件）</b>				
73	工事委託契約の締結について	常磐線石岡・羽鳥間85k494m付近高場踏切歩道設置工事委託契約を締結するため、地方自治法及び市条例の規定に基づき提案するもの	産業建設	可決
74	動産の買入れ契約の締結について	消防ポンプ自動車の買入れの契約を締結するため、地方自治法及び市条例の規定に基づき提案するもの	総務	可決
75	茨城美野里環境組合の解散について	ごみ処理広域化事業で令和3年4月から新ごみ処理施設が供用開始されることに伴い、茨城美野里環境組合の解散を協議するもの	総務	可決
76	茨城美野里環境組合の解散に伴う財産処分について	ごみ処理広域化事業で令和3年4月から新ごみ処理施設が供用開始されることに伴い、茨城美野里環境組合の解散に係る財産処分を協議するもの	総務	可決
77	霞台厚生施設組合規約の変更について	新処理施設の運用開始に伴い、霞台厚生施設組合規約のうち、共同処理する事務の一部を変更することについて協議するもの	総務	可決
79	工事請負契約の変更契約の締結について	小美玉市小川文化センター耐震・改修工事の変更契約を締結するため、地方自治法及び市条例の規定に基づくもの	—	可決





小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。議員はいずれかの委員会に属し議案審査にあたります。9月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

## 総務

(委員)  
田村 大岩 谷  
田村 楓本 仲  
戸市 大岩 谷

### ◆市循環バス

**問** 市循環バスのルート再編について、どのようなスケジュールのなかで再構築を図っていくのか。

**答** 現在の循環ルートは、1周約44キロ弱の距離を2時間かけて運行している。乗車時間が1時間になる利用者もいることから、感染リスクを抑えながら、さらには利用者の利便性を図るため、乗り継ぎが可能な直線ルートのシャトルルートに変更することについて公共交通会議で諮っていく。



### ◆市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

**問** 新型コロナウイルス感染症の防疫作業に従事するのは、どのような職員なのか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の患者、またはその疑いがある方に接して行う作業ということで保健師などを想定している。そのほか、感染者等が使用した物件の処理作業は一般職、また感染者等を同一車両により指定する施設等へ移送、または搬送する作業で消防職員を想定している。

## 産業建設

(委員)  
川田 村 島 井  
荒島 野田 福石

### ◆常磐線高場踏切歩道設置工事

**問** 道路拡張に伴う踏切への歩道設置工事だと考えるが内容は。

**答** 今回の工事により、延長約11メートル、幅員は車道が5メートル、歩道が2.5メートルとなる。なお、踏切内はカーブ舗装になる予定。

**要望** 子供たちが通学路として使っている他の踏切へも歩道を設置してほしい。

### ◆産業まつりイベント開催補助金

**問** 産業まつりの中止により開催補助金を全部減額するということが、産業まつりに限らず、市内外でイベント等が開催できない状況になっている。団体や市民の方が元気になるような施策を検討しているのか。

**答** 産業まつりの実行委員会では、様々な意見が出たが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、やむを得ず中止とした。実行委員会としてこれに代わる事業については検討していないが、市としては、規模は小さいながら空港やそらららを活用したイベントなどを少しずつ実施している。今後も感染症の状況や、国の方針など状況を見ながら検討していく。

### ◆農政企画総務事務費

**問** 今回、ドローンを2台購入することだが、どのように活用するのか。

**答** 農地整備における現況確認の効率化や、協議会における現地調査を、ドローンで撮影した映像資料にかえることにより、調査のための車内での3密の解消やリモート会議につなげていくことで、新型コロナウイルス感染症拡大の抑制を図っていく。また、ドローンは災害時の被災状況の確認など、幅広く活用が期待できることから、全庁的に活用できるよう使用基準等の仕組みづくりを進めていく。

## 文教福祉

(委員)  
 村津川 島谷 木取  
 木長 小長 幡植 香

### ◆コロナ禍の学校の対応は

問 今回購入予定のフェイスシールドなどは、どのように活用されるのか。

答 音楽の授業や発音など口の動きの確認が必要な場合にはフェイスシールドが有効になると思われる。

問 学校給食の配膳状況は。

答 食缶から盛り付ける際には、教諭、教職員をサポートする人材等が、配膳の盛りつけ等行っている。ビニール手袋、布製手袋を用い、給食当番等については配膳している。なお、お替わり等は、基本的に教師が盛りつけをしている。

問 幼児、児童生徒からコロナ感染者が発生した場合などの初動マニュアル等の整備は。

答 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインとして設定している。ガイドラインに沿い、授業や諸活動等を行うように統一して対応を進めている。

### ◆美野里地区の幼稚園統合『よつば幼稚園』

問 入園者数も減っていく一方という段階で、費用対効果の検証が重要と思うが、どのような方向性でいるのか。

答 市民ニーズを考慮すると、3年保育の実現に向けて検討を始める必要がある。さらには、預かり保育等も今度美野里地区において実施していく。新たな保護者の求めるサービスについて応えていく。よつば幼稚園の最大の特徴は、幼小連携のモデルになる小学校校舎内の設置であり、保護者の選択肢として魅力ある幼稚園づくりを努めていくことにより、園児確保等につながると考えている。



▲玉里学園義務教育学校の現地視察

## 議会報告会



▲昨年度議会報告会の様子(玉里会場)

小美玉市議会では、市民に対して議会の結果を報告し、市民と意見を交換する場として、毎年議会報告会を開催してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりましたが、議会報告会でお配りする予定でした議会活動についての資料をウェブサイトに掲載しています。また、市内の主な公共施設にも置いてありますので、ぜひご覧ください。市民の皆さまのご理解のほど、よろしくお願いいたします。



▲詳細はこちら

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

# 一般質問します！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

## 【質問議員 11名】 ※質問順

- P11 村田 春樹
- P12 香取 憲一  
木村 喜一
- P13 長津 智之  
島田 清一郎
- P14 小川 賢治  
石井 旭
- P15 福島 ヤヨヒ  
植木 弘子
- P16 谷仲 和雄  
戸田 見良



## 羽鳥駅周辺整備事業の今後のスケジュールは

### 民間活力による市有地利活用の推進を図る

#### 村田 春樹

**Q** 現行の0歳から2歳の子育て事業の見直しについて伺う。

**A** 教育部長 国の段階的

幼児教育・保育無償化の動向に注視しながら、子育て世帯にやさしい利用者のニーズに沿った子育て事業を進めていく。

**Q** 羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況、今後のスケジュールと駐輪場は。

**A** 都市建設部長 今後は民間活力により東口市有地を利活用できる民間事業者を募集していく。今後の募集スケジュールは9月下旬に募集要項等を公表し、事業者からの提案書類の受付や書類審査後、来年2月上旬に利活用事業の優先交渉者を選定していく予定で、民間活力による市有地利活用の推進を図っていく。

駐輪場は、現在の仮設駐輪場（150台）を増設整備（50台）し、さらに駅舎北側の線路沿い付近に駐輪場（50台）を整備する予定。

駐輪場は、現在の仮設駐輪場（150台）を増設整備（50台）し、さらに駅舎北側の線路沿い付近に駐輪場（50台）を整備する予定。

**Q** 多子世帯保育料軽減事業の対象とならない第1子の保育料の現状と支援策は。

**A** 教育部長 令和2年9月分の保育料が賦課されている第1子が163名、保育料月額が合計309万4千円。単純計算で12か月に置き換えると、年額4685万6千円となる。第1子について全部ないし一部補助の実施は現状では一般財源となるため、慎重な協議、検討が必要と考える。

**Q** 段階的無償化以外の支援策はあるのか。

**A** 教育部長 教育・保育無償化の対象外とされている保護者が、施設の実コストに応じて負担する園服や日用品、文房具等、行事参加費や通園送迎費用、食事提供費は完全実費負担のため、さらに利用施設によって金額も異なることから、上限額を設定した上で市独自の補助事業を検討する余地はあると考えている。

公共施設管理計画の進行・説明は丁寧に

きめ細かい周知や説明を行うよう努めていく



香取 憲一

Q 小川小学校・橘小学校の跡地利用のその後の進捗状況及び今後閉校予定の各地区小学校の跡地活用方針への課題は。

A 総務部長 旧小川小学校は来年1月完了予定で、プールを解体予定。校舎は来年3月策定完了予定の「公共施設建築物系個別施設計画」において具体的な方針が示される予定。橘小は校舎の解体について移転補償等の協議を進行させ、財源確保に努めている現状。今後の閉校予定の小学校の跡地利用は、令和3年度に玉里小の解体予定。（玉里教育学園義務教育学校の部活グラウンドに使用予定）その他は旧小川小に同じく「公共施設建築物系個別施設計画」を踏まえて進める予定。

Q 「公共施設建築物系個別施設計画」の進捗状況・内容及び策定完了後の市民の皆様への周知・説明について伺う。

A 総務部長 「小美玉市公共施設等総合管理計

画推進本部」及び「小美玉市公共施設等マネジメント推進委員会」で計画策定に取組んでいる。今後40年間で公共施設総保有量を現在から延床面積で30%削減し、維持更新コストの圧縮を図り、将来世代の負担軽減を目標としている。12月議会に更に具体的計画内容を報告・説明できるように取組みを進行中。

要望 2か年で約2,800万円の予算を投じる大切な計画ですので、市民の皆さんに計画の真意と御理解を得るにはなお一層の懇切丁寧な周知説明がなされ、納得と共感が得られるよう、執行部のさらなる努力を要望する。



▲ 解体が始まった旧小川小学校プール

地域再生計画立案で「企業版ふるさと納税」の活用を望む

本年度中に第2期総合戦略を修正して位置づける



木村 喜一

Q 「コロナ禍におけるまちづくり戦略の再構築を。首都圏勤務者を呼込むためにリモートワークの環境整備を望む声がある中、移住・定住・週末田舎別荘について伺う。

A 企画財政部長 仕事の形態や生活様式の変化を受け若者を含む各世代は便利な生活から安心安全な暮らしを求め、地方移住を考える人達が増加し始めている現状を踏まえ、移住のハードルを下げ、若者への支援を図る。

Q 農地付空家の流通に向けた事業の推進を。

A 市民生活部長 農地の権利取得を現行の50アールから1アールへと緩和規定を実施したところで、引続き農業委員会と連携し農地付空家の有効活用へ向け努力する。

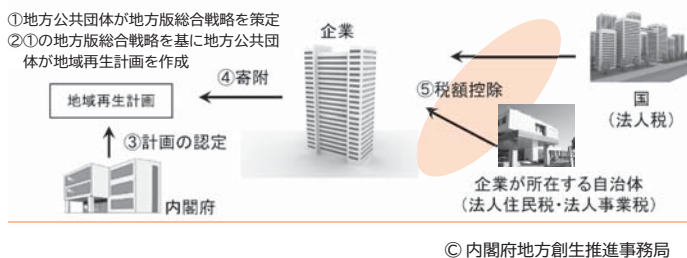


Q 新しい行政サービス及び事務のデジタル化について伺う。

A 総務部長 各所管課での保有データを整備、公開し更なる市民の利便性向上に向け努力していく。

Q 「企業版ふるさと納税」の現状と今後の本市の取組計画は。

A 企画財政部長 現在は制度活用されていないが本市でもスピード感をもって事業展開を図っていく。





インフルエンザ予防接種 15歳以下を無料に

無料接種はたいへん難しい

長津 智之

Q 毎年猛威を振るうインフルエンザの季節が到来する。今年にはインフルエンザと新型コロナウイルス感染とが同時流行の可能性が懸念される。本市はインフルエンザ予防接種に助成金を出しているが、今年はコロナ禍の中で小中学校、幼保施設等での同時流行を抑える意味でも、そして、子育て世帯の皆様にも経済的負担の軽減という観点から、15歳以下の方や65歳以上の高齢者の方に対して、無料接種を実施してほしい。

A 保健衛生部長 15歳以下や高齢者の方（65歳以上）には、1回分2,500円を助成する。医療機関では、感染予防対策への配慮が求められ、予防接種の受け入れには大変慎重になっており、無料接種は厳しい状況である。今年度は「新しい生活様式」に基づく感染対策の啓発に努める。

Q 市道栗又四ヶ線の交通安全対策について、現在一部開通している区間で市道との交差点がある



▲ 栗又四ヶ線と玉 22 号線の交差点

が、優先道路が変わり、すでに数件の事故が発生している。道路づくりは安全対策を鑑み整備していくと思うが、一部開通した部分を含めて今後整備する路線と合わせて交通安全対策について問う。

A 都市建設部長 3月の供用開始後、交通安全対策として交差点中心部に交差点のマークの設置、栗又四ヶ線と交差する道路側には、停止線付近に埋込式の自発光式道路路銀の設置や「とまれ」、「事故多発注意」の啓発看板を設置した。引き続き、道路利用者の通行状況を注視するとともに、主道路である栗又四ヶ線側にも必要な警戒標識等を設置する。

駅西口付近の国道、県道の道路整備について

陸の交流エリアとしてまちづくりを進める

島田 清一郎



Q この事業は小美玉市にとって主要な事業となるが、今後の取り組みについて市長の考えは。



▲ 羽鳥駅前（県道竹の内羽鳥停車場線）

Q 羽鳥駅西口周辺の国道、県道の歩道設置を含めて、道路整備の現状と計画を問う。

A 都市建設部長 歩道がなく、踏切が狭隘であり、交通の安全性や利便性に支障を来たしている。管理をしている茨城県に整備要望をしているが、現在のところ見通しが立っていない。引き続き、県と連携して事業着手に向けて協議していく。



▲ R355と市道の交差点

A 市長 陸の交流エリアとして、羽鳥駅を中心とした「まちづくり」を進めていく。茨城県に対して粘り強く要望していくので、地元の方々の協力をお願いしたい。

要望

羽鳥小学校北側の国道355号線と市道の交差点で信号待ちをしている小学生達を守るための防護壁の設置、交差点付近にスピード抑制標識の設置、安全運転を促す標識の設置など、この交差点での交通安全対策を早急をお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症「小美玉市持続化給付金」の支給実績は

9.1 現在 支給件数 29 件 / 支給額 580 万円 / 令和 3 年 1 月 15 日まで申請受付



小川 賢治



◀ 感染症対策として自動体温測定器で検温中 (本庁舎入口)



1. 産業経済行政について  
**Q**「小美玉市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」の支援実績は。  
**A** 産業経済部長 5月7日から8月31日までの受付期間で、支給件数は92件、支給総額は715万円。  
**Q**「小美玉市持続化給付金」の支給実績は。  
**A** 産業経済部長 令和3年1月15日まで申請受付期間を延長している。9月1日現在で支給件数は29件、支給額は580万円。  
**Q** 持続化給付金の事業者に対する周知は。  
**A** 産業経済部長 広報紙や市のホームページへの掲載、商工会など関係機関に周知を依頼、農業者に対しては農協生産部会において説明会を開催した。今後より多くの対象者が支援を受けられるよう努めていく。  
**2. SDGs (持続可能な開発目標) の取り組み事業について**  
**Q** 新型コロナウイルスの感染対策を進めながらSDGs (持続可能な開発目標) の理念に基づき環境保全や  
**A** 企画財政部長 市で取り組んでいる総合戦略の中間の目標「貧困をなくそう」では、感染拡大による雇い止めや解雇、事業収益の減少等への対応として、市民並びに事業者へ市独自の持続化給付金やひとり親世帯並びに大学生等への支援などを予定している。目標3「すべての人に健康と福祉を」では、感染拡大を抑制するため、妊産婦や高齢者並びに子ども達への優先的なマスク配布、また家庭内や職場内で使用できる除菌水の配布、体温自動測定器の設置など市民の安全安心な生活環境の確保を実施している。目標4「質の高い教育をみんなに」ではグローバル社会への対応とGIGAスクール構築を目指し、全ての小中学校全児童生徒にタブレットを配布し、ICT教育への対応を進めていく。

突然の白河診療所の閉鎖理由は

患者数減少、医師不足、建物老朽化の現状踏まえ



石井 旭

- Q** 閉鎖時期を検討委員会等で、検討してきたと思うが、市民への公表時期と説明責任が、一番重要であると考えますが市の対応は。  
**A** 保健衛生部長 患者数の減少、経営状況、医師不足、診療所の建物の老朽化などの状況を踏まえ閉所予定とする。検討委員会等は設けていないが、市国民健康保険事業の運営に関する協議会で承認をいただいている状況である。市民への公表時期は令和3年1月から3月を周知期間とし、ホームページ、広報紙、地区内回覧、診療所内の掲示等を考えている。  
**Q** 患者を小美玉医療センターへ送迎することが必須だと考えるが、現在、送迎バスの運行が無い地区への送迎体制方針は。  
**A** 保健衛生部長 現行の白河診療所前を通過するルートに白河診療所敷地内をバス停に追加し、さらに白河診療所直行便を追加する。  
**Q** アンケート調査の状況と閉鎖時期のスケジュールは。  
**A** 保健衛生部長 9月中旬から患者へのアンケートやネットモニターを活用を考えている。閉所後の患者が不便を来さないよう対応するための内容で、小美玉市医療センターの状況説明、閉鎖後に受診予定の医療機関、小美玉市医療センターを受診する場合の交通手段などである。令和3年1月から3月を周知期間とし、令和2年度末で閉所予定となる。  
**Q** (仮称)石岡地域医療センター計画だが、石岡市長の交代や石岡市議会も未だ賛否両論の中、小美玉市のかかわり方は。  
**A** 市長 救急体制の強化や産科新設及び小児救急の拡充の取り組みについて限定し、支援策等を含めて、今後、石岡市、かすみがうら市と協議し、連携していく。

コロナ過から市民の命とくらしを守る対策は

不安感を払拭できるよう今後も情報発信していく



福島 ヤコヒ

**Q** 市民の検査はどう実施されているか。医療体系については確立されているか。発熱してPCR検査を受けたときは。

**A** 保健衛生部長 発熱が続いた場合、「帰国者・接触者相談センター」に相談するか、かかりつけ医が必要と認めた場合は検査が受けられる。水戸保健医療圏地域検査センターが開設され、中央保健所内にドライブスルーによる検査が年度内実施され、市職員も派遣を行う。

**Q** 教育現場での対策と、多人数クラスでの対策はどのようになっているのか。少人数学級の実現を望む。給食の無償化は考えているか。

**A** 教育部長 35以上の学級は8校19クラスあるが、多目的室や音楽室など広い教室の利用やグラウンドで音楽の授業を行うなど、3密を避ける工夫をしている。フェイスシールドも全児童生徒に配布、消毒作業はスクールサポートスタッフやボランティアなどにも協力いただき行っている。期間限定の給食の無償化は検討していく。

**Q** くらしを守るための持続化給付金の対応は充分か。地元事業者の救済をしっかりと考え支えて欲しい。国保税、後期高齢者保険料減免制度の周知徹底をして欲しい。

**A** 産業経済部長 支給件数からみると浸透していない状況から、金融機関、農業生産部会などを通じて、より多くの支援が受けられるよう努める。国保税等の減免措置に対しても、民生委員児童委員等を通じた周知も検討していきたい。

**Q** その他の質問

- ・市民生活を守るために充分な交付金活用とプレミアム商品券は誰もが公平に購入できる仕組みに。
- ・避難所対策は充分か。
- ・市民に周知徹底を望む。
- ・国民健康保険税傷病手当の支給対象の拡充を。
- ・特定健診制度に聴力検査、歯科検診を。

コロナ差別、いじめ対策の取組みを伺う

冷静な行動をお願いし、人権擁護活動に取り組んでいく



植木 弘子

**Q** 新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、人権教育及び感染者への偏見を防ぐ取組みは、市民全体のものとして、市民生活の安全、安心を守るため必要かつ重要なもの。市内に感染者が出ても、詮索や差別やデマではなく、支え合える市民となるため、市民一人ひとりに浸透していかねばならない。現在の取組み状況と今後について伺う。

**A** 保健衛生部長 各種人権相談窓口を「みんなの人権110番」「子どもの人権110番」など案内している。また、文科省からの周知依頼があり、「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止」に向けた大臣メッセージを児童、生徒はもとより学校関係者や保護者へ各学校を通して周知している。市民の皆様には正しい情報のもと、冷静な行動をお願いし、今後とも不当な偏見や差別が行われることのないよう、広報紙等を活用し注意を促すとともに引き続き人権擁護活動に取り組んでいく。

**Q** その他の質問

1. コロナウイルス感染症対策
  - ・避難所運営のあり方
  - ・インフルエンザ予防対策
  - 2. 新しい生活様式に向けた諸施策の具体化
  - 3. 工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底
  - 4. フレイイル（加齢に伴う虚弱化）予防の推進

STOP!  
コロナ差別  
#正しい理解を  
#差別はやめよう  
©公益財団法人 人権教育啓発推進センター

恐れるべきは人ではなくウイルスです。病気を理由に人を差別したり、職業や属性だけでレッテルを貼り排除することは絶対に許容できません。

小川小学校跡地周辺の一体的利活用を図るべき

歴史的価値や周辺地域を一体的に捉え検討したい



※ ファシリティマネジメント…施設とその環境を経営資源・公共財産として捉え、公共施設の保全や管理運営方法等において経営的な視点から、施設にかかる経費の最小化や効果の最大化等、施設の有効利活用を図るための管理方法

谷仲 和雄

**Q** 施設とその環境を経営資源、公共財産として捉えるファシリティマネジメントの視点に立ち、小川小学校跡地周辺の一体的な利活用推進を図るべきと考えるが、所見を伺う。

**A** 総務部長 市内公共施設については、今年度未策定予定の公共施設建築物系個別施設計画において具体的な対応方針を定めるので、これを踏まえて整備を進めていくことになる。小川小学校跡地は、昨年12月策定の小川小学校跡地利活用方針に基づき、子どもたちが安心して遊べる広場や市民の交流拠点として整備を進めていくこととなるが、周辺の利活用については、公共施設建築物系個別施設計画に基づき、財政負担を考慮した公共施設の最適化を図るとともに、歴史的価値や周辺地域を一体的に捉えた整備についても検討し、地域の活性化に繋がる利活

用を図れるよう取り組みたいと考える。

**Q** 健全化判断比率4指標や公債費負担比率の動向を踏まえ、第2次総合計画後期基本計画に向けた中期財政計画、事業予算化となる3カ年実施計画について、「計画」と「財源」の整合性をどのよう

に図るか所見を求めます。

**A** 企画財政部長 行財政改革を進め経常的経費の削減を図る。各財政指標を踏まえつつ、3カ年実施計画との整合性がとれた中期財政計画を作成していく。



▲ 右が小川公民館（1972年築）、左が小川幼稚園跡地、その奥に市立図書館・資料館（1991年築）がある

最終的に誰が子ども達の交通安全・防犯を守るのか

通学路の安全は責任をもって教育委員会で対応する



戸田 見良

変革に対する小美玉地域に必要な計画について

**Q** 感染症にも経済危機にも強い地域をつくるための基本計画に組み入れるものは。

**A** 企画財政部長 国より示された「地域未来構想20」感染症にも経済危機にも強い地域社会経済の構築のため今回はキャッシュレス決済の普及や行政のIT化、GIGAスクール構想を促進し、後期基本計画にも明確な位置づけが行えるよう検討する。

**Q** 人口減少にともなう強い地域をつくるための計画に必要な重要事項は。

**A** 企画財政部長 「移住・定住」「出会いの場の創出」「シビックプライドの醸成」など事業展開を図っているが、さらに若年層に魅力を届けるために継続して事業を推進しコロナ禍においてもリモート環境を生かした交流も進める。

**Q** 学校適正化にともなう規模と配置における小中一貫教育の具現化に対応する安全対策は。

**A** 企画財政部長 通学路安全対策連絡協議会による情報共有や通学路安全対策プログラムによる関係機関への対応要請等を行ってまいります。

**Q** 最終的に誰が子どもたちの交通安全・防犯を守るのか。

**A** 教育部長 子どもたちの通学路の安全については教育委員会が責任をもって対応したいと考えている。



▲小美玉市上玉里地区通学路



## 第57回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第59号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方に小美玉ふるさと食品公社で利用できる商品券（1,000円分）をプレゼントします。ぜひご応募ください！

問① 令和元年度一般会計の歳出決算額は

〇〇〇億 8,875 万円

問② 令和元年度小美玉市の実質公債費比率は〇.〇%

問③ 令和2年第3回定例会 審議結果件数は全〇〇件

◇応募方法 はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和2年11月27日（金）まで \*当日消印有効

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉 835

小美玉市役所議会事務局宛 FAX：0299-48-1199

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。

☆クイズ当選者発表は、商品券の発送をもってお知らせします。

### 第55回クイズの正解

問① 令和2年第2回定例会の会期は〇日間。

答え→〔7〕

問② 令和2年第2回定例会で、議員提出の議案は〇件。

答え→〔2〕

問③ 令和2年第3回定例会は9月〇日開会予定。

答え→〔3〕

### 過去にクイズ当選者の方へお送りした「キャトル・セゾン」の食事券の取り扱い

このたび、「キャトル・セゾン」が令和2年9月13日をもって閉店となり、過去に本紙のプレゼントクイズ企画でお送りした食事券がご利用できなくなりました。

まだお手元に当選したお食事券がございましたら、今年度に限り、下記のとおり小美玉ふるさと食品公社の商品券として利用できることになりましたので、お早めにご利用くださいますようお願いいたします。

◆利用場所 小美玉ふるさと食品公社  
そ・ら・ら売店（空のえき そ・ら・ら内）  
小美玉市山野 1628-42  
直営店（花木センター内）  
小美玉市部室 1189-4

◆有効期限 令和3年3月31日（水）

議会だより楽しみにしています。

先日、除菌用電解水をいただきました。

ありがとうございました。（小川・Uさん）

若者も政治に興味を持てるような内容を希望します。（上玉里・Nさん）

## 市民の声



コロナの影響で、給付金対策、学校臨時休業等、それぞれがみんな大変だと思います。みんなで力を合わせて乗り越えましょう。（与沢・Nさん）

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

コロナ対策として、議会運営費削減や議員報酬の減額により市民への支援に充ていただきありがたく思っています。これからも小美玉市民のための政策をよろしく願います。（栗又四ヶ・Fさん）

以前は直接関係がないと思いきや、読みながったのですが、クイズの答えを探すのに読んでいます。毎回読んでいるうちにいろいろわかり興味深くなりました。（山野・Yさん）

## 議員インターンシップ受け入れ

議員インターンシップ制度により大学生を受け入れました。この制度は、若者の政治への興味関心を喚起することで、若年層の政治離れを抑止し、社会経験を通じた精神的成長を目的としています。一般質問を傍聴した茨城キリスト教大学2年の長谷川涼佳さんは、『「議員は地位や名声ではなく、純粋に地域をよくしてさらに発展させたい」「未来を担う子ども達のために安全で美しいまちを創り後世へ残したい」との思いをもとに日々活動されていると感じました。』『私も議員の皆さんの思いに感化されたので、地元をよくするために、何か行動を起こしたい』と傍聴した感想を語ってくれました。



▲9月9日一般質問を傍聴した市内外在住の大学生

【茨城大学、茨城キリスト教大学、常磐大学の大学生合計7名が参加】

## 12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
		12/1	2	3 本会議 (開会、議案 説明等)	4	5
6	7	8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12
13	14 常任委員会	15 常任委員会	16 常任委員会	17	18 本会議 (報告、採決、 閉会)	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

\* 議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応策として、3密（密閉・密集・密接）を避けるために入場を制限させていただきます。ご理解をお願いします。

\* 委員会等の詳しい日程については、12月2日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

\* 定例会中の本会議（一般質問など）は、同時放映を行っています。本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでご自由にご覧いただけます（受付は不要）。

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

次の定例会は  
**12月3日（木）開会予定** です

## 編集後記

コロナ禍の中で令和2年第3回定例会が本誌のとおり閉会いたしました。

今議会は、決算特別委員会がありました。全員協議会で協議の結果、三密を避けるため決算報告書に対する質疑は文書質疑とし事前通告により文書で説明を求め、さらに質疑のある委員が再質問をすることとして、関係する執行部職員のみ出席を求め、さらに説明を求めました。

この病に対しての完全な対処策が見つかるとまでは、団体に関わる人々の知恵と工夫と協力により感染の蔓延を未然に防ぐことが必要と感じた定例会でした。

（島田 清一郎）



発行編集責任者 議員 長 笹目 雄一  
 広報特別委員会 委員長 植木 弘子  
 副委員長 香取 憲一  
 委員 幡谷 好文  
 委員 木村 喜一  
 委員 島田 清一郎  
 委員 長津 智之  
 委員 戸田 見良

